

西表島世界遺産だより

第 13 号

令和 7 年 3 月発行
西表島部会
事務局

子どもたちの描いた西表が空を舞う！

世界自然遺産の次世代への継承に向け、地域の児童生徒の皆さんが身近にある貴重な自然について関心を高め、理解を深める機会となることを願い、『やんばる・西表島 図画コンクール』（主催：沖縄県）を開催しています。

八重山地域及びやんばる地域に住む小中学生を対象に募集し、八重山地域では、応募作品 111 点の中から県知事賞 1 点と環境部長賞 5 点、世界自然遺産推進共同企業体賞 1 点が選ばれました。県知事賞の受賞作品は航空機にラッピングされ空を舞い、世界自然遺産となった西表島・やんばるを PR します。



図画コンクールの表彰式の様子（2月3日開催）

県知事賞



玉元 愛紗さん（大原中学校 3 年）
「鮮やかな自然の中に」

環境部長賞



神保 文香さん
（海星小学校 6 年）
「私が感じた西表島」



中重 結菜さん（石垣中学校 3 年）
「南ぬ島に住むカムリワシ達」

世界自然遺産推進 共同企業体賞



大浜 来実さん（大浜中学校 3 年）
「豊かな自然」



元村 円さん（真喜良小学校 6 年）
「ハコガメの散歩」



渡慶次 鈴さん（平真小学校 3 年）
「西表島にすむイリオモテヤマネコ」

世界自然遺産地域活動支援事業について

沖縄県自然保護課では、県内の世界自然遺産地域の豊かな自然を守りながら、魅力ある観光地づくりを推進するため、西表島及びやんばる3村（国頭村、大宜味村、東村）において、自然環境や景観の保全に資する活動を行う法人等を支援する補助事業を令和6年度より開始しました。

今年度は4件の活動が採択され、ガイドのスキルアップ講習会、ロードキル対策のための草刈り、ビーチクリーン、シンポジウムなどの地域活動が実施されました。来年度も引き続き活動を募集します。多くのご応募をお待ちしています。



ビーチクリーンの様子

西表島の自然環境を次世代へ継承するための議論が行われています

西表島部会

令和6年度の西表島部会が8月20日（第1回）及び2月4日（第2回）に開催されました。世界自然遺産である「西表島」の適正な保全・管理の推進に向け、地域で話し合いを行っています。

今年度は、各機関で実施されているノヤギ対策の取組や、モニタリング評価委員会による評価結果などが報告されました。また、西表島における草刈り作業の重要性について、ロードキルや交通安全上の観点などから、多くの意見が挙げられました。



令和6年度第2回西表島部会の様子

グッドプラクティス選定・支援制度の検討

沖縄県では令和5年度から、西表島の観光関連事業者の皆さまが行う島のためになる優れた取組を称え、一定の基準を満たしているものを登録・表彰等することにより、取組を推進・支援する制度を作ること検討しています。この制度により、「島を守り活かす観光」につながる取組が広がり、自然環境や地域社会が維持され、観光客の方々が島をより深く理解して行動するなどといった好循環が生まれることを目指します。例えば、ごみの削減やリサイクル、地元産品の活用、地域行事への協力、文化の保存継承なども、島のためになる取組といえます。

今年度は各集落の観光との関わりなどについて地元関係者へのヒアリングや意見交換会を行ったほか、関係団体や専門家を含めた検討会を2回開催し、制度案について検討を行いました。

世界自然遺産を楽しく学ぼう！

沖縄県では、児童生徒の世界自然遺産への興味や関心をより深めるため、八重山圏域・沖縄島北部の小中学生を対象に自然体験学習ツアーを実施しています。今年度は両地域で各2回、対象年齢に応じたプログラムを実施しました。

10月12日には仲間川マングローブ遊覧船ツアー、10月13日には浦内川でカヌー体験を行い、合計で41名の小中学生にご参加いただきました。



仲間川マングローブ遊覧船ツアーの様子

ノヤギ対策の取組について

調査・捕獲状況について

令和6年度は、環境省により自動撮影カメラを用いたモニタリング調査（古見岳、テドウ山、横断道）、農通信システムを活用した捕獲事業（ユツン・アイラ付近）、沖縄県によるノヤギの捕獲を行っています。島内で野生化したヤギを目撃した場合は、環境省や沖縄県（自然保護課）に情報をお寄せください。

ヤギの飼い方に関する条例を制定しました

飼いヤギが逃げ出すなどして野生化し繁殖することにより、ノヤギが増加し、自然植生や農作物への被害が深刻化しています。さらなる被害を防止するため、竹富町により「竹富町ヤギの適正な飼養及び管理に関する条例」が令和6年12月20日に制定されました。令和7年4月1日から施行される予定です。

「竹富町ヤギの適正な飼養及び管理に関する条例」のポイント

1 家畜（ペット）としてのヤギの適正飼養・管理の徹底

- 一、耳標、首輪、足環等の装着の義務づけ
- 二、放し飼いの禁止・逸走の防止・遺棄の禁止
- 三、飼い主の第三者への迷惑行為（第三者の土地又はその工作物若しくは農作物を荒らすなどの行為）の禁止
- 四、飼育場所の清潔性、衛生性の保持（悪臭、衛生害虫等を発生させないこと）

2 その他

- 一、地元の関係者との協働体制の構築
- 二、条例運用に関する第三者委員会の設置
- 三、町長の行政指導及び行政処分に係る権限の付与
- 四、条例違反者に対する最高5万円以下の過料（罰則）の適用



一部フィールドでの立入制限が始まりました

西表島エコツーリズム推進全体構想（策定：竹富町西表島エコツーリズム推進協議会）に基づき、「特定自然観光資源」に指定された島内の5つのフィールドで、立入制限制度の運用が令和7年3月1日から始まりました。

原則として、特定自然観光資源へ立ち入る際には、事前に竹富町長に申請を行い、承認を得る必要があります。

ただし、住民のみなさまのレクリエーションのための利用や、狩猟、学校行事などでの利用は立入制限の対象になりません。



住民のみなさまが自然を利用される場合には、豊かな自然環境を損なわないような方法で利用していきましょう。

観光客などと接する機会がある方は、ぜひ制度の普及にご協力ください！

特定自然観光資源	上限人数
ヒナイ川	200人/日
西田川	100人/日
古見岳	30人/日
浦内川源流域（横断道）	50人/日
テドウ山	30人/日

立入承認申請を要しない者

次の目的で立ち入る者

- ・大学等の学術研究行為
※事前の届出が必要
- ・町内の学校が行う授業、課外活動等
※事前の届出が必要
- ・住民及びその親族による余暇活動
※親族は住民の同行が必要
- ・住民による狩猟行為
- ・消防団による遭難者の救助活動 等

西表島のモニタリング評価を行っています

西表島の自然環境や地域社会の状態を把握し、できるだけ悪影響を与えないように管理していくため、様々なデータに基づきモニタリング評価が行われています。12月25日に開催された「科学委員会」では西表島を含む奄美・沖縄世界自然遺産の価値の保全状況について、1月30日に開催された「西表島モニタリング評価委員会」では西表島の観光による影響について、モニタリングデータの確認と評価が行われました。それらの評価結果の中から、特に住民の皆様に関係の深い内容をいくつか紹介します。

<野生動物の交通事故について>

- ・イリオモテヤマネコの交通事故件数は近年減少傾向に転じている。(2年連続0件)
- ・カンムリワシの交通事故は毎年継続的に発生している。
- ・交通事故が発生しやすい地点は、イリオモテヤマネコでは道路脇の雑草が繁茂したところ、カンムリワシでは道路沿いが樹木で遮蔽されたところにある。
- ・夜間の車両速度は年々下がってきている。
- ・ドライバーに対し、昼夜を問わず車両速度低下に対する普及啓発を継続していくことが重要である。

<飼いネコの管理状況について>

- ・西表島ではマイクロチップ装着率・不妊去勢手術率は前年度より上昇し、100%となった。
- ・室内飼養の割合は約40%である。

皆さまの日頃からの安全運転のおかげで、イリオモテヤマネコの交通事故件数は0件を継続しています！カンムリワシの交通事故は毎年発生しているため、これからも走行速度に気を付けて安全運転を心がけましょう。



飼いネコのマイクロチップ装着率や不妊去勢手術率は、令和5年度に100%となりました！一方で室内飼養の割合は40%とまだまだ低いため、皆さま一人一人の取組が重要となります。引き続き、ご協力をお願いいたします。

猫を放し飼いにすると、島固有の小動物を襲ってしまったり、イリオモテヤマネコに感染症が広がる要因になってしまう可能性があります。また、猫自体も交通事故や天敵からの攻撃、感染症などのリスクに常にさらされることになります。



パークボランティアの活動について

パークボランティアとは、環境省のパートナーとして、国立公園の利用者指導、美化活動、外来生物の駆除、野生動物の交通事故対策などの活動にご協力いただいている登録ボランティアの方々です。

西表石垣国立公園のパークボランティアは、主に石垣島、西表島内において月に3回、様々な活動を行っています。現在は69名の方にご登録いただいております、今年度新規会員を募集しました。

西表島では今年度、ビーチクリーンや外来生物の駆除作業、ヤマネコをはじめとする野生動物の交通事故防止のための草刈り作業、希少生物持ち出し防止のためのチラシ配布などを行いました。



ビーチクリーン後の様子



お問い合わせ先

沖縄県自然保護課 TEL:098-866-2243

竹富町自然観光課 TEL:0980-83-1306